

令和2年9月25日

日生ニュータウン・パークタウン地区

大和・見野地区

向陽台・水明台・緑台地区

川西市医師会会員の皆様へ

川西市長 越田 謙治郎

市立川西病院移転後の外来機能整備にかかるアンケートについて（お願い）

初秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

医療福祉行政の推進につきまして、平素から格別のご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
ます。

さて、先日「現市立川西病院跡地活用の新提案にかかる説明会」を開催し、現市立川西病院移転後の跡地活用案のひとつとして今井病院移転案に至った経緯、移転後の診療機能、現市立川西病院の外来患者の動向についてご説明させていただきました。

今井病院移転案では、外来機能は内科1診の提案がされていますが、地域におきましては、北部診療所案でお示ししていた外来機能を維持してほしいとの意見もいただいています。このような状況の中で、市といたしましては、どの程度の外来機能を整備する必要があるのか、改めて検討しているところです。

つきましては、現市立川西病院の患者が多い地域の先生方に、ご意見を賜りたいと考えておりますので、別紙1のアンケートにご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

〒666-8501  
川西市中央町1 2番1号  
川西市総合政策部病院改革推進課  
TEL:072-740-1136 (直通) FAX:072-740-1315  
E-mail:kawa0129@city.kawanishi.lg.jp

### 北部地域における外来機能にかかるアンケート

市といたしましては、今回の病院改革（市立川西病院と協立病院の再編統合）にあたっては、市立川西病院の跡地に病院を誘致できない状況の中で、北部診療所を建設することとしていました。診療体制は、平日の午前中は内科3診、小児科1診、整形外科1診、外科等その他1診の計6診体制、土日祝日の午前中は内科、小児科、整形外科を1診ずつの体制とし、うち内科1診は24時間急病対応を行うとしていました。

今井病院からの提案を受け（経過については別紙3を参照）、外来機能の再検討をしておりますが、現市立川西病院の患者数の減（平成28年度の平均外来患者数457人⇒令和元年度349人⇒令和2年7月313人）しているとともに、コロナ禍の中で全国的に各診療所の患者数も減少している状況にあります。これらの状況や基本的な外来診療の役割を考慮し、現市立川西病院の閉院後の入院を必要としない患者の受け入れについて、先生方のご意見を伺います。

別紙2の「かかりつけ医を必要としている患者数見込み」を参考にいただき、お忙しいところお手数ですが、令和2年9月30日までにお答えいただきますよう、お願いいたします。

### 回答

お名前 \_\_\_\_\_

- ① 基本的には開業医で受け入れできると思う。
- ② 開業医のみでの受け入れは難しいと思う。

自由意見

※電子メールによる回答でも構いません。